

一般社団法人日本ハンドセラピー学会 学会誌 執筆要項

一般社団法人日本ハンドセラピー学会（以下、本学会）が発行する学会誌においては、以下の事項にしたがって論文執筆すること。

1. 論文を作成するにあたって

日本ハンドセラピー学会 HP の『機関誌オンライン投稿システム』にログインした後、『投稿者メニュー』にある『論文作成の手引き書はこちらから』から「日本ハンドセラピー学会 学会誌論文作成の手引き」を入手し、熟読して作成する。

2. 形式について

- ① 原稿は、本学会が定める電子投稿システムを使用し、投稿手順に従い入力を行う。
- ② アップロードするデータファイルは、要約ファイルと本文ファイルおよび図・表・写真ファイルとする。
- ③ ファイル名はそれぞれ、「要約」、「本文」、「図表写真」とする。「図表写真」ファイルのアップロード数が、複数になる場合は、図表写真 1, 図表写真 2, …とする。

3. 書式について

- ① 論文は、Microsoft 社の Word を用いて、横書き、和文とし、A4 サイズ用紙で、左右上下余白を 20mm と設定して作成する。
- ② ページ番号を中央下に挿入する。
- ③ 要約ファイルは 1 段組みで作成する。
- ④ 本文ファイルは 2 段組み（1 行 22 字・45 行）で作成する。
- ⑤ 文字フォントは全て MS 明朝で作成し、表題は 14 ポイント、サブタイトルと第 1 階層の見出しは 12 ポイント、他は、全て 10.5 ポイントで作成する。

4. 体裁について

- ① 論文は、常用漢字、新かなづかい、新医学用語を用い、且つ「整形外科用語集」「手外科学用語集」に従うこと。数字は算用数字、数量は国際単位系（SI 単位）記号を用いる。（例：m, cm, mm, ml, kg, m²など）
- ② 句読点は全角カンマ「,」全角ピリオド「.」で統一する。
- ③ 英数字は半角で統一する。
- ④ ○ヶ月、○ヶ所等は、「ヶ」は使用せず、○か月、○箇所とする。
- ⑤ 「/」は半角で統一する。
- ⑥ 不等号として「<」または「>」を使用する際は、全角で統一する。

5. 要約ファイルについて

- ① 要約ファイルでは、表題と要約と keyword（5 個）の記載と、別に定める本学会学会誌投稿規定

の学術集会発表投稿論文にあたる場合は、「第〇回学術集会発表投稿論文」と記載する。

- ② 表題は中央寄せで、サブタイトルがあるものは、全角マイナス「-」を使い、表題-サブタイトルと入力する。
- ③ 要約は全角文字数で 400 字以内とし、タイトルから 1 行空け、改行なしで記載する。
- ④ keyword は、要約から 1 行空けて記載する。
- ⑤ 「第〇回学術集会発表投稿論文」は、keyword から 1 行空けて記載する。

6. 本文ファイルについて

- ① 本文は第 1 階層の見出しとして、緒言、対象と方法、結果、考察、結語、文献にて構成することを原則とする。第 1 階層の見出しには、「【〇〇】」や「1. △△」などの見出し番号は用いない。
- ② 見出しの第 2 階層は、「1. 2. 3. . . .」第 3 階層は、「① ② ③ . . .」第 4 階層は「(1) (2) (3) . . .」の見出し番号を用いて作成する。
- ③ 第 1 階層の見出しの行前後には、1 行空ける。
- ④ 利益相反の有無について記載する。
- ⑤ 研究助成を受けている場合は、その旨を記載する。
- ⑥ 文献は本文の最後に引用順に記載する。本文中には、その文献番号を上付きフォントで記載する。文献の記載方法は次に従うこと。
 - (1) 雑誌は、「著者名. 表題. 誌名 巻：ページ, 発刊年.」で記載する。
 - (2) 誌名は、略語を使用する。なお略語は、和文論文では医学中央雑誌、英文論文では Index Medicus に準拠する。
 - (3) 単行書は、「著者名. 表題. 編者名, 書名. 発行者 (社), 発行地：ページ, 発刊年.」で記載する。
 - (4) 翻訳書は、「原著者名. 表題. 訳者名, 書名. 発行者 (社), 発行地：ページ, 翻訳書発刊年.」で記載する。
 - (5) 著者は、和名・英名含め全て「姓」「名」の順で記載する。
 - (6) 著者名は 2 名までを記載し、3 名以上は“他.” (英文の場合は et al.) とする。ページは論文もしくは章の該当ページの初めと終わりを記載する。
 - (7) Web サイトや Web ページは、「Web サイト名, Web ページ名. URL (閲覧日:)」で記載する。
 - (8) 文献番号の上付きフォントの記載は「1)」とする。文献番号が複数となる際の本文中の記載は、「1, 2)」、「1-3)」とする。

例) 研究一郎, 論文太郎, 他. ハンドセラピー学会誌の変遷. 日ハ会誌 15 : 12-15, 2021.

kenkyu I, Ronbun T, et al. Changes in the Journal of Hand Therapy. JJHTS 15:12-15, 2021.

研究一郎. 学会誌の変遷. 論文太郎 編, ハンドセラピー誌. ハンド社, 大阪 : 35-40, 2021.

Kenkyu I. Goals of Hand Therapy. 論文太郎 訳, ハンド理論. ハンド社, 大阪 : 45-55, 2022.

- ⑦ 本文の頁数は上記の書式にて、3 ページ程度を推奨する。長くても 6 ページ以内とする。

7. 図・表・写真ファイルについて

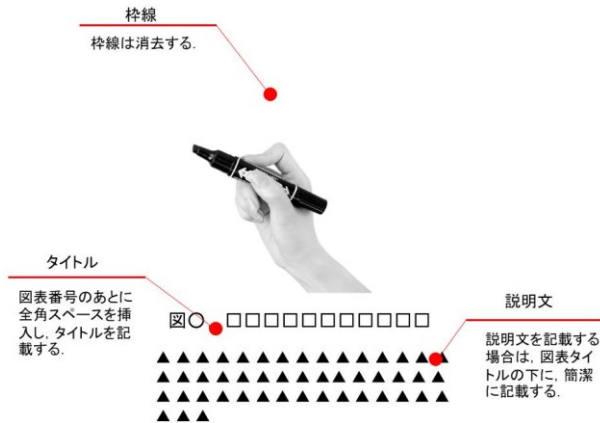
- ① 図・表・写真は、カラーで掲載を希望する場合は、カラーで投稿し、白黒で掲載を希望する場合は、白黒で投稿する。

- ② 図・表・写真は、Microsoft 社の Word か Power Point に貼り付けて、本文とは別にアップロードする。原則として1ページに1枚を貼り付ける。
- ③ 図・表・写真を用いる場合は、必ず本文にてその図、表および写真について言及する。
- ④ 他誌や他書から図・表・写真を転載する場合は、著作権者や出版社の許諾が必要であり、その手続きに関する責任は全て投稿者が持つこととする。なお、転載の承諾を得たうえで、図・表のタイトル横に出典を明記する。例) タイトル (転載許諾を得て文献1より引用)。
- ⑤ 文字・数字と縦横罫線だけで構成されるものを「表」、それ以外のグラフやフローチャートなど、不定形なものはすべて「図」とする。
- ⑥ 図と写真は下にタイトルと通し番号(図1 図2 図3・・・)を記す。また、写真等を複数結合させたものは、一つのタイトルとして1枚とする。
- ⑦ 写真等を複数統合させた図を一つずつ説明する場合は、「a b c・・・」と表記する。
- ⑧ 表は、上にタイトルと通し番号(表1 表2 表3・・・)を記す。
- ⑨ 表の罫線は、一番上の罫線(タイトルの直下にある)と一番下の罫線のみ太罫線で書き、それ以外の線は細罫線で書く。縦罫線はできるだけ用いない。
- ⑩ 表の数値で小数点を用いる場合は、小数点以下の桁数を揃える。
- ⑪ 別に示す「図・表・写真の体裁について」を参照し、作成する。

以上

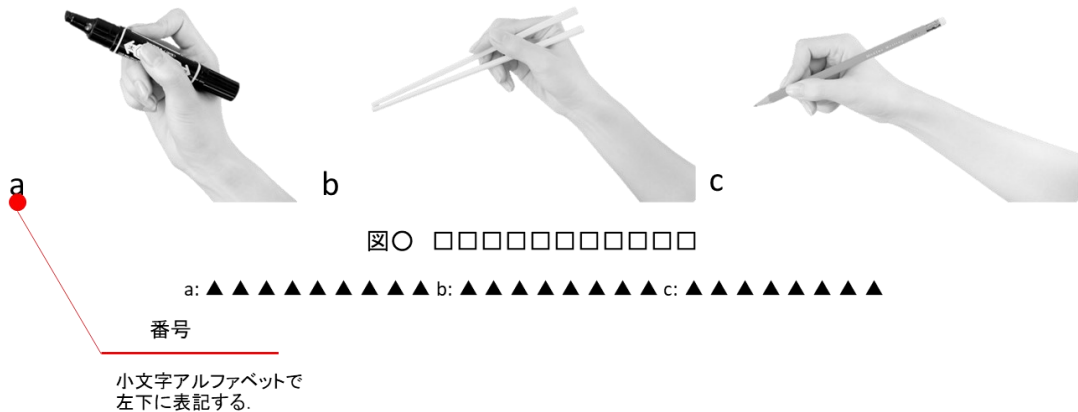
図・表・写真の体裁について

1. 図および説明文の体裁



2. 複数の図を用いる場合

1) 横並べ



2) 段組み

